Galileo™
galileosearch.co.jp

組立自由の重量物搬入用 多用途支柱 機設支柱シリーズ

機設支柱用リフター

取扱説明書

このたびは、ガリレオ製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。この取扱い説明書には事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取り扱い説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとはいつでも見られるところに必ず保管して下さい。

安全上のご注意

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠ **注意**	障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容を下記の図記号で説明しています。

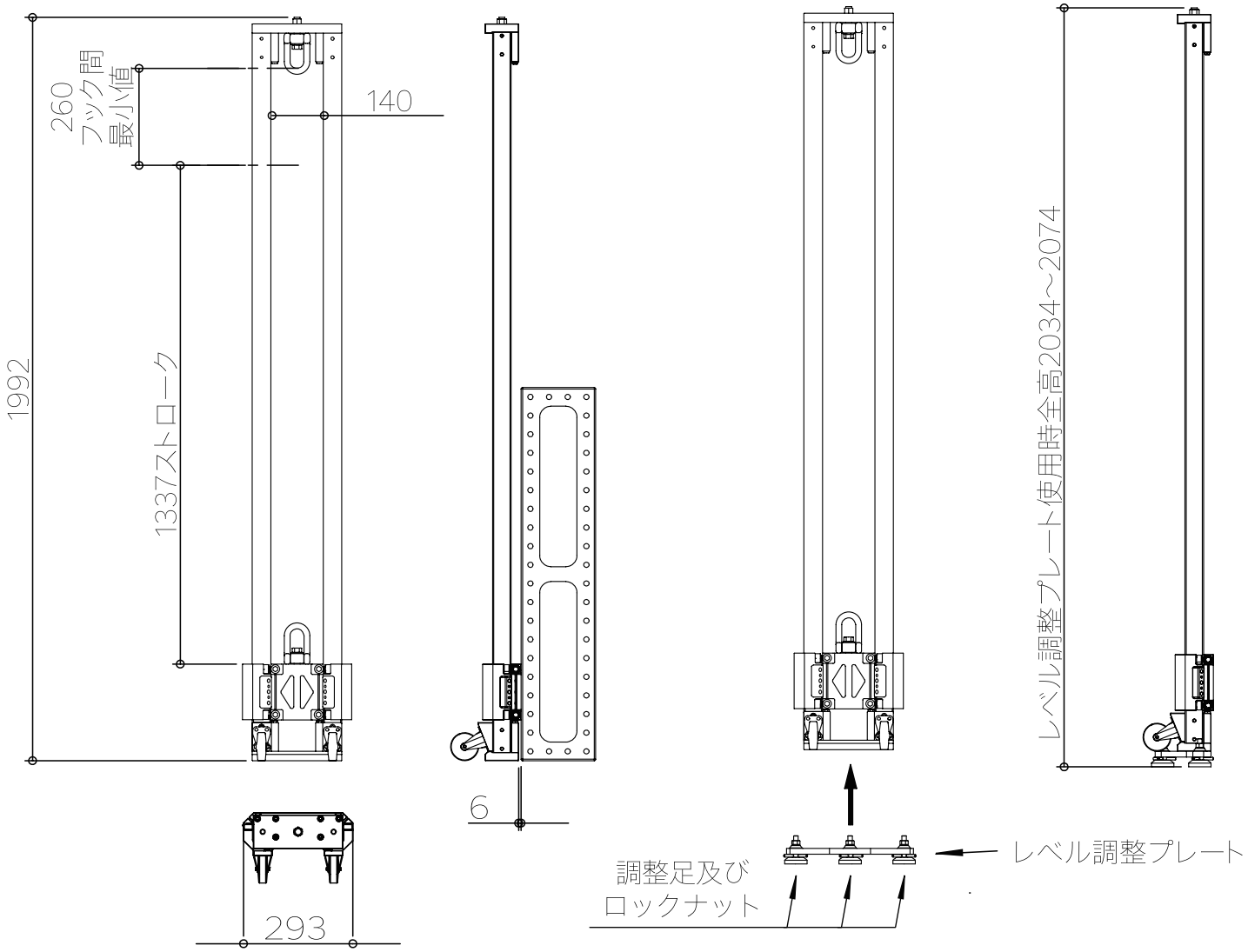
⚠	**気をつけなければならない。「注意」を示します。**
❗	**必ず行う。「強制」を示します。**
⃠	**してはいけない。「禁止」を示します。**

名称の定義

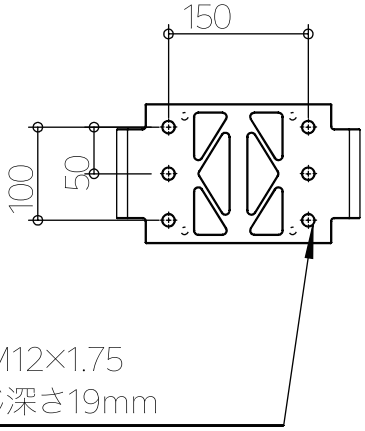
機設支柱™とは株式会社ガリレオ 機設支括シリーズの商品総称です。

機設支柱用リフター　各部サイズ概略

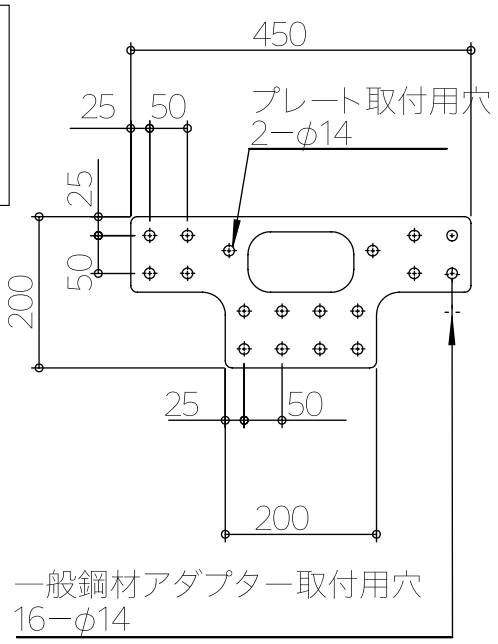
機設支柱用リフター本体



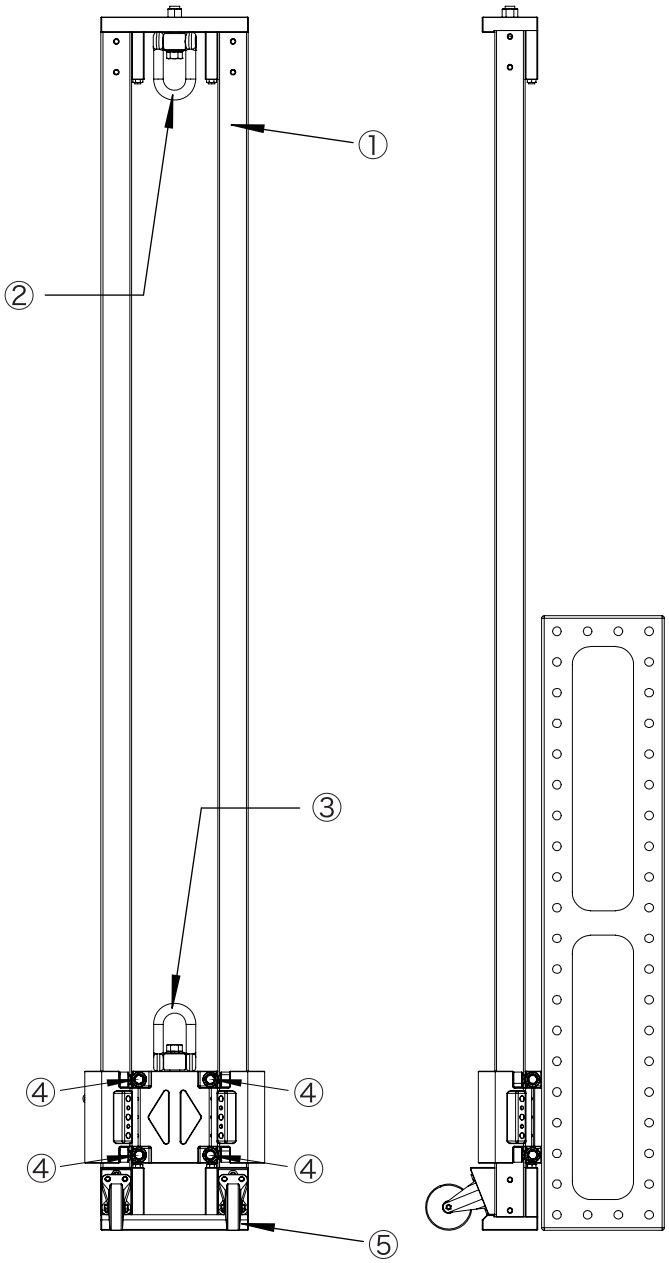
リフターブロック部
ねじ穴詳細図
縮尺1/10



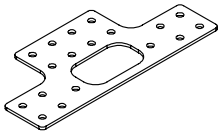
ブレース取付
プレート
ねじ穴詳細図
縮尺1/10



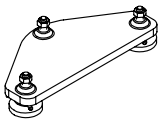
機設支柱用リフター　各部名称



①リフター支柱
②チャーンブロック上部取付具
③チャーンブロック下部取付具
④機設支柱接合部
⑤移動用キャスター
⑥機設支柱※本製品には含まれません。



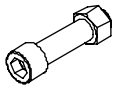
ブレース取付プレート×4枚



レベル調整プレート×4台



リフターブロック用スタッドボルト
M12×1.75-L=40×16個



ブレースプレート使用時ベース用
ボルトナット×8セット
M12×1.75ーL=50



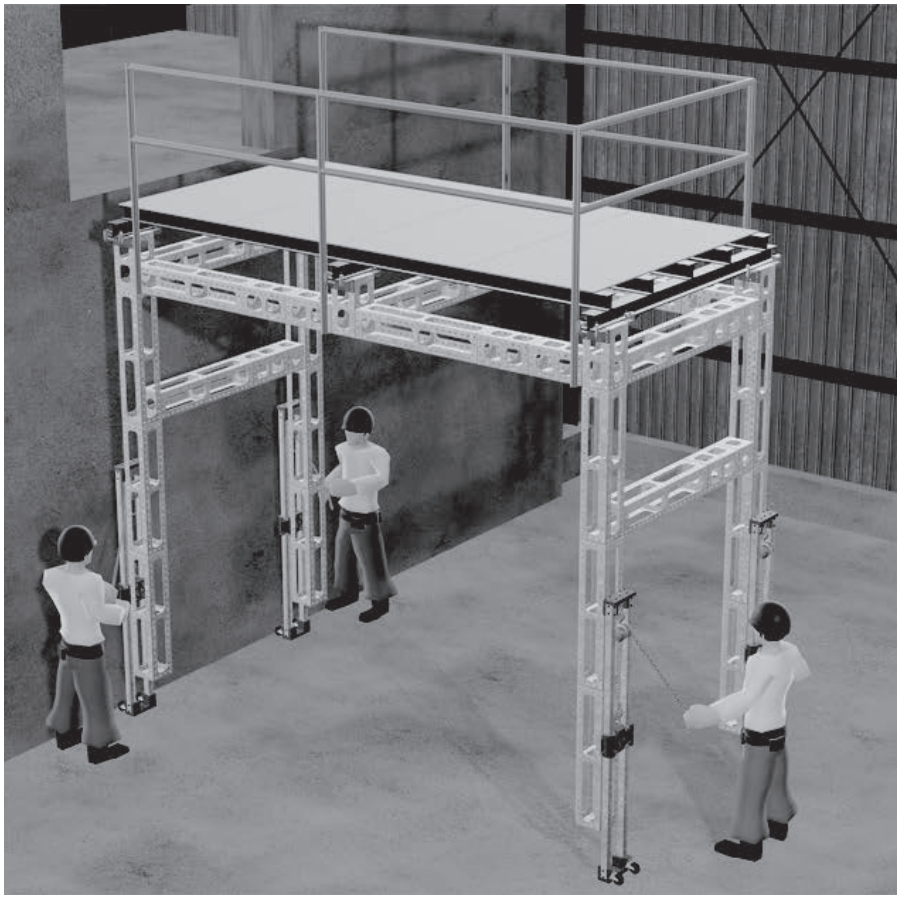
リフターブロック用ナット
M12×1.75×16個



リフターブロック用スタッドボルト
M12ーL=25×8個

基本的な使い方

⚠ 警告

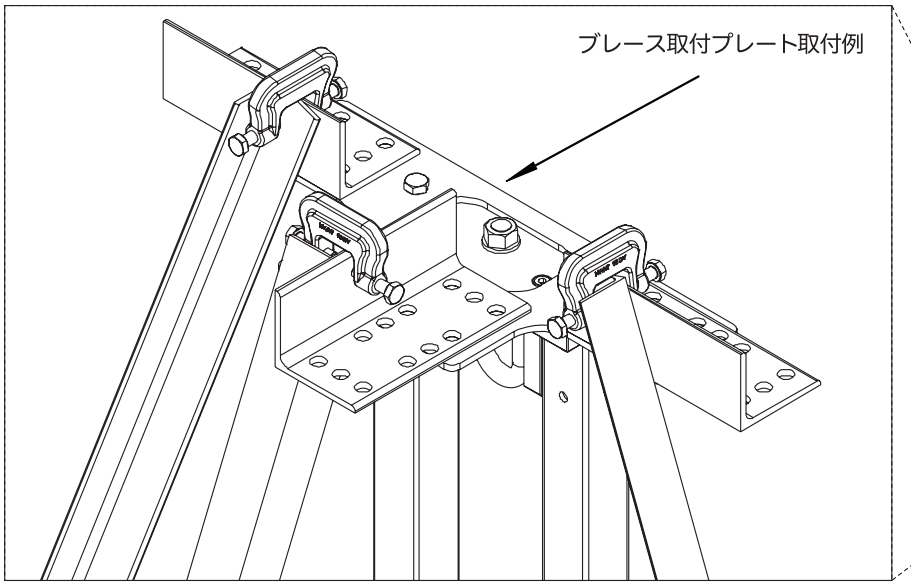


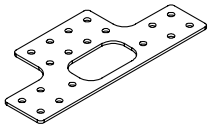
本製品の使用は、リフター４機で１セットでの使用が基本です

・本製品はリフター４機で１セットの使用が基本的な使い方になります。

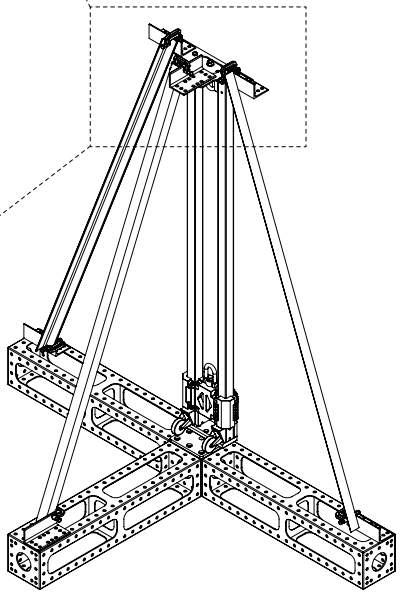
・４機で使用する場合でも、適切なロープや用具を用いて、転倒防止の措置を行って下さい。

・使用する状況によっては、本製品はリフター３機で１セットで使用することもできます。





ブレース取付プレート
（製品付属）



ブレース取付プレートと機設支柱を用いてリフターを自立させる一例

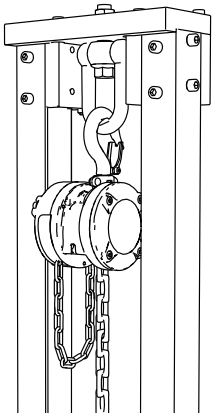
リフター３機で１セットで使用する際など、リフター１基側では転倒防止の措置を取る必要があります。たとえば、本図のように、製品に付属のブレース取付プレートに、機設支柱を組み合わせてリフター自体自立するような構成をとることもできます。他にも、ロープや用具を用いて、転倒防止の措置を取るようしてください。

製造物責任について

弊社納入品は、日本国内で使用下さい。海外での使用はおやめ下さい。
また、弊社納入品を日本国外に移設して、自ら使用し、若しくは第三者に使用させる場合、または、弊社納入品を修理、改造して自ら使用し、若しくは第三者に使用させる場合に、人的および物的損害に係わる製造物責任の問題が発生したときは、かかる損害が貴社への引渡し時に有していた弊社納入品の欠陥に基づいて発生したことを貴社により証明された場合を除いて、貴社の責任と負担においてこれを解決され、弊社はこの問題に係わる費用負担を免れるものといたします。

揚重機器のご注意

⚠ 警告



本製品 1台の耐過重は500kg

取付チェーンブロックの制限
・定格荷重 500kg 以内に対応
・寸法が 2 本のスライドレール間に収まる必要あります。スライドレールに正常に収まらないサイズのチェーンブロックを使用しないで下さい。

■適合確認済みチェーンブロック
KITO製キトーチェーンブロック CX500
KITO製キトーチェーンブロック CX250

・本製品は重量物搬出入経験者のみ使用してください。また、保護具着用のうえ使用してください。

・本製品の揚重器具は、CX500、または CX250 として設計されています。それ以外の揚重器具（規定荷重以外の機種、チェーンブロック以外）を使用しないで下さい。

・揚重器具（CX500 または CX250）のオーバーリミット機構が働いた場合、使用を直ちに止め、施工計画の見直しを行ってください。

・揚重器具の使用方法は製作メーカーの取り扱い説明書に従ってください。

取付ボルトのご注意

⚠ 警告

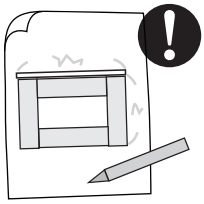
・使用前に必ず各所ボルトナット、ネジ類の締め付け確認をして下さい。

・本製品を機設支柱へ取付ける場合、必ず付属のスタットボルト 4 本とナット及びワッシャー組みで取付を行ってください。また、規定トルクによる締め付けを確認してください。

・締め付けトルク値を 29.1N・mとする。

設計と計画のご注意①

⚠ 警告



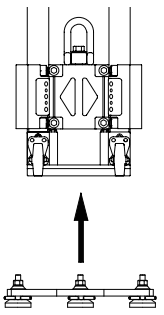
機設支柱及び本製品の使用には正しく設計し、強度計算をおこなった上で使用して下さい。

・本製品の設置個所の構造計画（専門家による）を行ってください。

・本製品の転倒防止計画の立案し、計画に基づき転倒防止のための措置を実施して下さい。

・本製品に強い衝撃を与えないようにしてください。また、リフター本体に変形をおよぼす荷重をかけない様にしてください。

・本製品を設置する箇所の地盤、スラブ、の耐力を十分に確保して使用してください。また、必要に応じ敷鉄板等による養生を行ってください。



レベル調整プレート
（製品に付属）

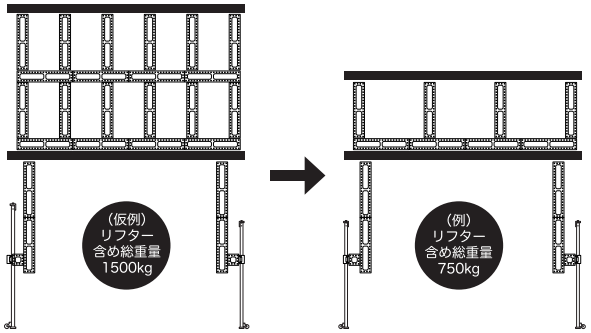
本製品は、設置個所の水平度を出してから使用してください。水平度の調整には、製品付属のレベリングプレートを用いて下さい。またレベリングプレートの調整足ロックナットは必ず締めてください。また本製品底面の設置部分は水平状態で、均等に底面に荷重がかかるように使用してください。

設計と計画のご注意②

⚠ 警告

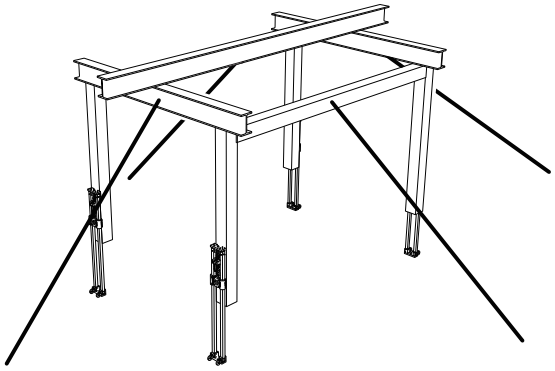
仮に何らかの１構造物の総重量が１ｔを超える場合は…

総重量が１ｔ未満となるように設計と構造を見直しして下さい



構造物が 1t を超える場合は設計と構造を見直しする

・本製品を４基で、機設支柱による構造物、または、機設支柱を含む構造物を構築する場合、機設支柱を含む構造物の総重量を 1000kg 以下として設計計画を行って下さい。※（目安）機設支柱約 55 本、水平材や筋交材、梁材などの使用量で加減してください。

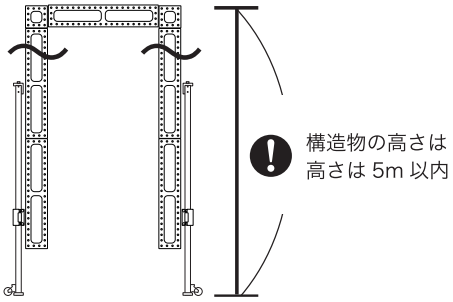


倒壊防止策を講じること

・本製品を使用し機設支柱、または、機設支柱を含む構造物を構築する際は、適切な横縦比とした上で、リフター使用中は常に転倒防止策が必要です。また、リフトアップまたはリフトダウン中も、常に転倒防止策が必要です。

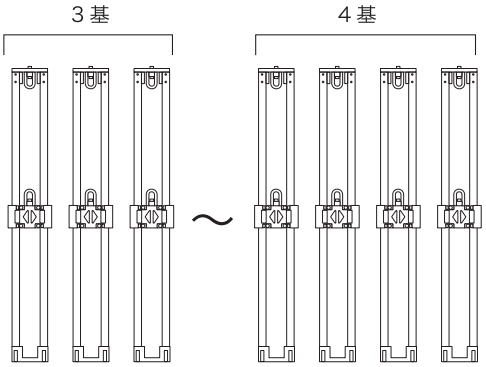
・本製品を使用し機設支柱、または、機設支柱を含む構造物をリフトアップまたはリフトダウンする際は、常に転倒防止策が必要です。

・機設支柱、または、機設支柱を含む構造物から、リフターブロックを外す前に、支柱側の転倒防止措置構造を構築してから外すようにしてください。



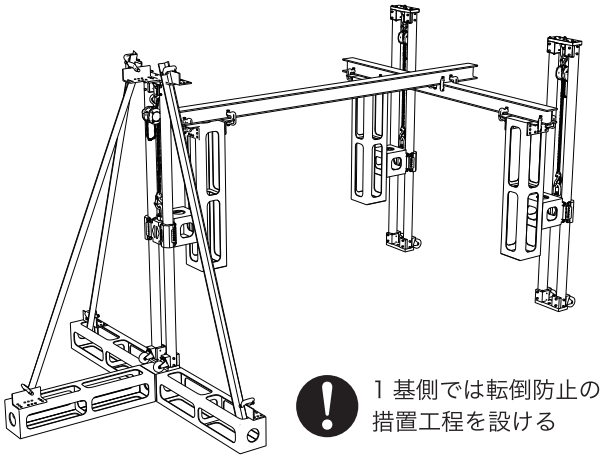
構造物の高さは
高さは 5m 以内

・本製品を使用し機設支柱、または、機設支柱を含む構造物を構築する際は、構造物の高さを５メートル以内として構造設計計画をして下さい。



リフターで構築する場合は
３基以上４基以内で計画する

・本製品を使用し機設支柱、または、機設支柱を含む構造物を構築する際は、必ず３基以上リフトする様に計画をして下さい。



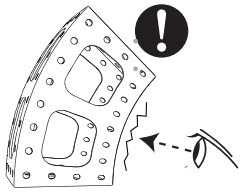
１基側では転倒防止の
措置工程を設ける

・本製品でやむを得ず3基でリフトアップまたはリフトダウンする場合、１基側では、必ず転倒防止措置工程を行ってください。

・本製品は，機設支柱および機設支柱を含む組立物が剛結合されそれ自身で自立していること (倒壊しない構造であること) を前提として作られています。

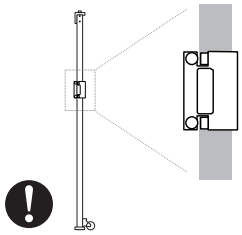
⚠ 点検及び異常があった場合

⚠ 警告



使用前に点検し変形や劣化などの異常がある場合は使用を中止してください。

■以下の日常点検を義務付けてください。
①本体の破損個所，き裂，溶接部の剥離などがない事
②ボルト類のゆるみがない事
③可動部の異常がない事
④スライド部に異物等が残っていない事



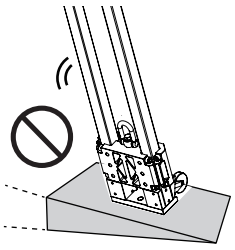
リフターブロックとは左図の本体レールを上下に可動する機設支柱との接合部の部品を言います。
使用前に必ずリフターブロックの動作確認を行ってください。

・リフターブロックの動きが悪い場合やガタツキが有る場合は、メーカー修理となります。そのまま使用すると、リフターブロックの破損や外れによる大きな事故となる場合があります。

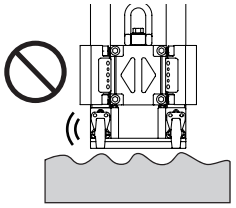
・リフトアップダウン作業中、異常が見られる場合は直ちに作業を停止し点検を行ってください。

使用上のご注意①

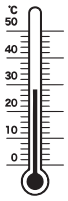
⚠ 警告



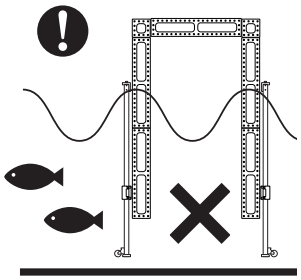
機設支柱及び本製品は水平な面に置いて使用して下さい。



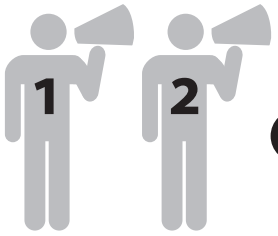
機設支柱及び本製品は平らな面に置いて使用して下さい。



本製品の使用温度範囲は、摂氏5度～40度です。



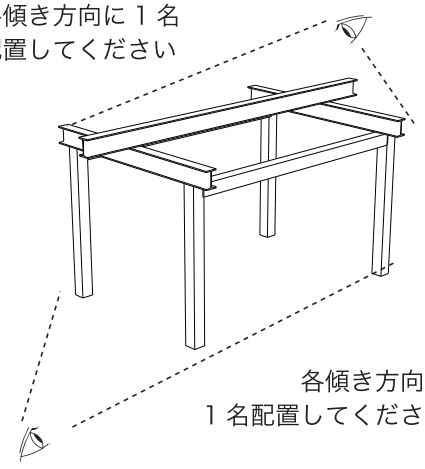
本製品は、機材の一部または全部を、水中、海水中、泥水中に入れて使用することはできません。



監視員又は作業指揮を２名以上配置する

・本製品を使用し機設支柱、または、機設支柱を含む構造物をリフトアップまたはリフトダウンする際は、安全管理、構造物の姿勢監視を行う監視員又は作業指揮者の配置をしてください。各傾き方向に最低1名ずつ､合計2名以上の監視員を配置して下さい。

各傾き方向に１名配置してください



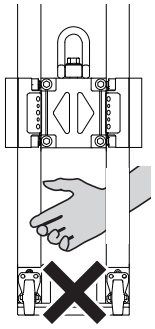
各傾き方向に１名配置してください

・機設支柱、または機設支柱を含む構造物をリフトアップまたはリフトダウンする場合、必ず構造物が全ての方向で水平（または垂直）な状態で４基のリフトアップまたはリフトダウンのテンポを合わせ、全てのチェーンブロックのチェーンがたるまない様に施工してください。

・回転部位、摺動部位に手や指を挟まれる可能性が有ります。十分に注意をして下さい。また、本製品を使用する際は、保護具を着用して作業をして下さい。

使用上のご注意②

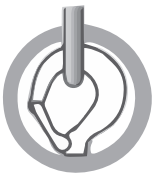
⚠ 警告



いかなる場合においても、リフターブロックを上昇させた状態で、リフターブロックの下のすべてのスペースに、身体または身体の一部を絶対に入れないでください。リフターブロックが下降し、リフターブロック自体やリフターブロックに接合された機設支柱と、構造物の底部または設置場所の床に、身体または身体の一部が挟まれる等、場合によっては死亡災害発生のおそれがあります。

・リフターブロックと機設支柱は隙間のないように取り付けて下さい。リフターブロックと機設支柱の間に傾きがある場合、リフターブロック用ナットが締まった様になりますが、リフト中に傾きが解消されてしまうと、ナットが緩んだ状態となり、大変危険な状態となってしまいます。

・本製品に取り付けるチェーンブロックは、下図を参考にして、確実にチェーンブロックのフックが本製品と結合していることを確認して下さい。



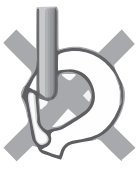
正しい使い方
フックの軸線上に吊ります



フックの先端部では負荷がささえきれない



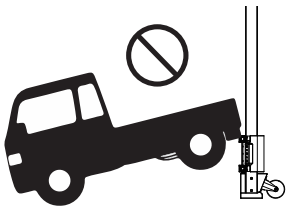
外れ止めが正常に機能していない



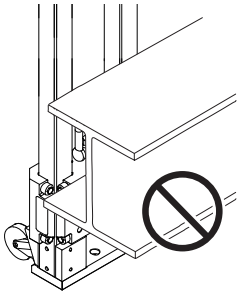
正規の位置にかかっていない

禁止事項

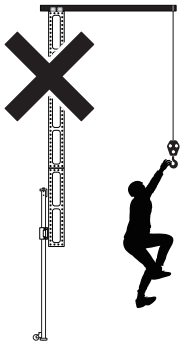
⚠ 警告



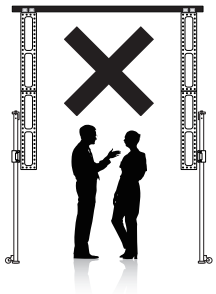
本品は機設支柱専用です。機設支柱以外のものを、上げたり下ろしたりしないでください。大変危険ですので絶対止めてください。



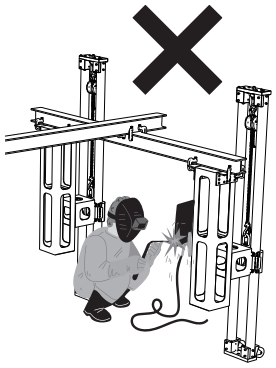
本製品で品物（重量物本体）の楊重は行わないでください。構造物が崩壊する恐れがあります。



リフターまたはリフターが接合している機設支柱をクレーン等にして、人を吊り上げたりぶら下げたりしないで下さい。



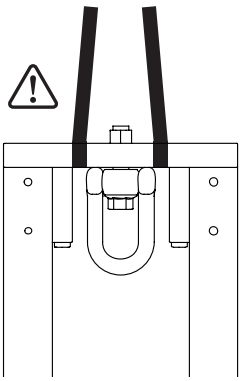
リフターまたはリフターが接合している機設支柱のちかくに、作業に無関係な人が立ち入らないようにして下さい（立入禁止）



本製品を使用しながらの溶接は禁止です。

本製品をクレーン移動させる際のご注意

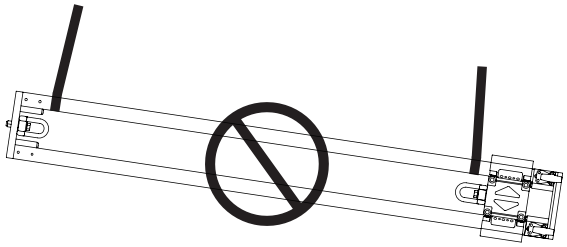
⚠ 警告



本製品をクレーン等で移動させる場合は、本製品上部の左図の位置に、スリングベルトをかけ、1 台ずつ、移動させて下さい。

クレーン接地の際は、静かに接地させ、強い衝撃を与えないよう注意して下さい。

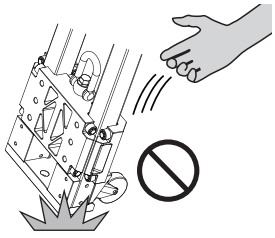
2台以上、一緒に吊り上げて移動させないでください。バランスを崩し、落下したり、破損したりする危険があります。



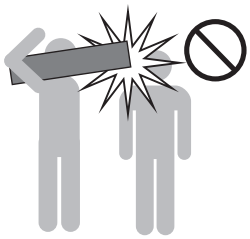
製品下部が重い構造のため、製品を横にしてクレーンで吊ることはやめて下さい。バランスを崩し、落下したり、破損したりする危険があります。

運搬のご注意

⚠ 警告

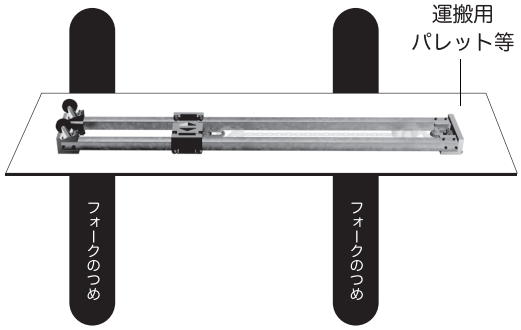


本製品の運搬時は落としたり、放り投げたりしないでください。



本製品を持ち運ぶ際は他人に接触しないよう注意してください。

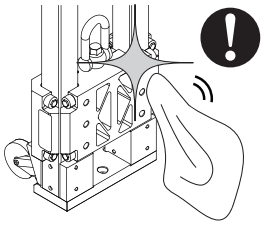
・本製品は単独では自立できません。1 名で作業する場合、機設支柱と分離した際には本製品が倒れる可能性が有ります。



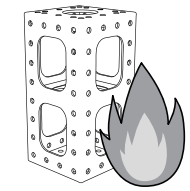
本製品をフォークリフトで運搬する場合は、フォークリフトのつめに下部フレームとリフターブロックの全面を載せて下さい。正しくつめに載っていない場合、本体が落下し、機器の破損や重大な事故につながる恐れがあります。また、フォークリフトのつめが本製品に損傷を与える恐れがあります。

整備・保管のご注意

⚠ 警告

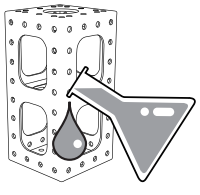


本製品は、錆など金属変質により性能が低下する恐れがあります。定期的にメンテンスを行い、金属が変質しないよう保管してください。



金属が変質する
入熱をしない

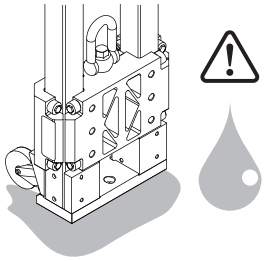
機設支柱及び本製品を、熱源や炎のそばに置かないで下さい。製品が変質や変形をしたり、触れた際に火傷を負う危険があります。



金属が変質する
薬品の接触をしない

機設支柱及び本製品に、薬品をかけたり塗布したりしないで下さい。製品が変質や変形の危険があります。

⚠ 注意



本製品を保管する際は汚れや塩分を取り除き、乾燥した状態で保管してください。

本品を廃棄・処分するとき

⚠注意

本品を廃棄・処分するときは，他の方が使用できないように分解しリサイクルに務めてください。

本製品を第三者への譲渡や中古市場に流通させた時は、譲渡や第三者流通品に対して、弊社はあらゆるサポートと品質保証ができません。予めご承知下さい。

製品の特性や用途の都合上、個別の製品保証はございません。
規定の荷重内での製品の変形（傷は保証外です）や破損がありました際は速やかに使用を中止し、弊社サポートセンターに御連絡ください。なお製品の耐過重についての詳細は、弊社が提供する「200x200x1000mm ブロック仕様検討書 R1.2」の通りとなります。
アフターサービスについてのお問い合わせは、本社または営業担当までご連絡ください。

Galileo™
株式会社ガリレオ

〒250-0013　神奈川県小田原市南町 3-8-26
TEL：0465-43-7532　FAX：0465-43-8466
URL：https://www.galileosearch.co.jp/kisetsu